

# 令和6年度に向けた重点的取組みの検討

## <本日議論いただきたいこと>

- 前回議論いただいた「重点的検討課題」への対応として、来年度(今後)どのようなことに重点的に取り組んでいくか。  
(「検討の方向性」や「今後の取組みにあたっての留意点」も参照)
- 前回PT以後の動向や、今年度のウェルビーイング県民意識調査の結果などを踏まえて、新たに検討すべきことや考慮すべきことはないか。

**【注】** ウェルビーイングを全施策に落とし込み、その浸透を図る一方で、成長戦略PTとしては、検討課題やそれに対応した取組みを「選択と集中」により、重点化して検討することとしている。

<重点的検討課題①>

## 若者・こどもを取り巻く“つながり実感”の充実

### 【検討の方向性】

- 若者の「地域」や「県」との“つながり実感”を高める取組み
- 若者・こどもを中心に多世代交流が活発化する仕掛け
- 地域や富山県の良さに気づき、愛着を持ち、誇りに思えるポジティブな発信



### ロゲイニング

- ・地図をもとに時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるナビゲーション・スポーツ
- ・チェックポイントを巡る順番は自由。全てを回る必要はなく、選択できる。
- ・ポイント設定やそこでのアクション、配点の工夫により、子どもからお年寄りまで参加可能

- ・ウェルビーイング指標のすべての要素を包含
- ・参加者の多様な価値観、多様なウェルビーイングを包摂  
(多分野の要素：観光、買い物、健康・スポーツ、歴史・文化etc)
- ・テーマやチェックポイントの設定次第で社会的弱者も参加しやすい

### ○若者・こどもにとっても、

- ・体験型ゲーム感覚で参加しやすい（楽しい）
- ・メンバーの結束、他チームとの交流・発展性
- ・地域や県の魅力発見、つながり実感に貢献

- ・ウェルビーイングを楽しく体感でき、その向上にもつながる。
- ・県内でも開催実績があり、受け入れられやすい環境がある。
- ・常設的な仕組みとすることで、地域づくりにも貢献できる。

<重点的検討課題②>

## 働く人すべてがいきいきと“働きがい”を実感できる ウェルビーイング経営の推進

### 【検討の方向性】

- 働き盛り世代の働きがいや自分時間の充実に関する実感を高める取組み
- 働く人が“働きがい”を感じられるエンゲージメント向上を推進
- 働く人のウェルビーイング向上と、企業等の成長や魅力向上の好循環を目指す。  
(従業員等のご家族や地域など関わりのある皆さんへの波及効果も期待)



(ある研究結果では、)幸福度の高い社員はそうでない社員と比べて、  
・創造性は3倍高く、生産性は31%高く、売上は37%高い、  
・欠勤率が41%低く、離職率が59%低く、業務上の事故が70%少ない

### ウェルビーイング経営

○働く人の「いきがい、希望実感」に影響を与える主要因子(調査項目)の男女による相違にも配慮  
(男性) 富山県は未来への期待やワクワクがある(富山県、職場、地域とのつながり)  
(女性) 前向きな気持ちになることが多い(職場や学校で前向きになれる、夢や目標を実現できる)

- ・幸せ実感が高いと創造性・生産性が高く、離職率が低いなどの研究結果等を用い、女性を含む若者の社会減対策や県内企業の魅力向上にもつながるウェルビーイング経営の推進を、業種を問わず、各業界と連携して進める。
- ・アンケート調査やヒアリングにより県内での取組状況や経営者の意識を把握し、実際のアクション(サイトへの登録等)につなげていく。
- ・県庁自らが率先してウェルビーイング経営を実施

企業等が自ら取組みを進める  
機運醸成とロールモデル発信

## <今後の取組みにあたっての留意点>

○重点的な取組みの検討・実施にあたり、以下の点に留意

- ・ポジティブな面を更に伸ばしていく観点
- ・主観・客観データをベースとしつつ、ターゲット層へのインタビュー等の定性調査も実施
- ・県職員自身のウェルビーイングの見える化、向上
- ・県民意識調査等では見えてこない方々（調査に回答していない方や回答できない方、また社会的に弱い立場において声を上げづらい方など）のウェルビーイングへの配慮
- ・あらゆる施策分野に通じる、多様性を尊重する居場所・環境づくりへの配慮